

(2) 乳幼児の健康の現状

1) 健康の状況

①死亡の状況

乳幼児突然死症候群による死亡が、平成19年に1件みられます。

不慮の事故、乳幼児突然死症候群による死亡件数(人口動態統計より)

	H19年	H20年	H21年
不慮の事故による死亡件数	0	0	0
乳児突然死症候群	1	0	0

②疾患別受診件数の状況

受診件数順位は、第1位が「喘息」、第2位が「その他の上気道」第3位が「急性気管支炎」と続き、呼吸系疾患での受診が上位を占めています。

受診件数順位(国民健康保険 平成22年5月診療分)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	全数
疾患名	喘息	その他の上気道	急性気管支炎	皮膚炎と湿疹	咽頭と扁桃炎	
件数	337	254	242	135	85	1,836
金額	389,741	185,448	272,833	71,983	89,530	43,844,970

③事故による受診の状況

事故による受診件数は、骨折が5件、熱傷・中毒がそれぞれ4件、頭蓋内損傷が1件、その他の損傷37件となっています。

事故による受診件数(国民健康保険 平成22年5月診療分)

	骨折	頭蓋内損傷	熱傷	その他の損傷	中毒
0~4歳	5件	1件	4件	37件	4件

④疾患別医療費の状況

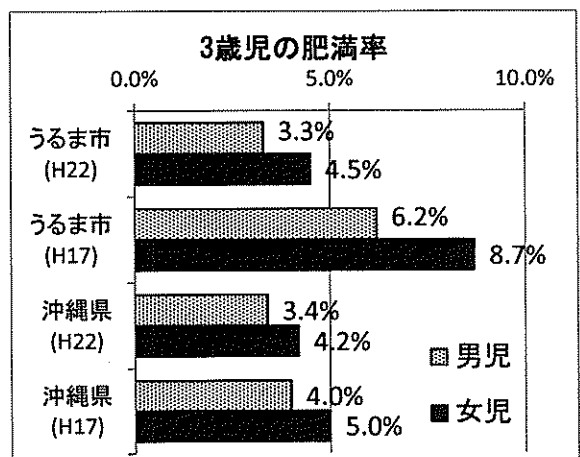
医療費順位をみると、第1位が「胎児発育障害」第2位が「その他心疾患」第3位が「喘息」と続いています。

医療費順位(国民健康保険 平成22年5月診療分)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	全数
疾患名	胎児発育障害	その他心疾患	喘息	肺炎	急性気管支炎	
件数	25	2	337	31	242	1,836
金額	1,364,585	412,155	389,741	345,946	272,833	43,844,970

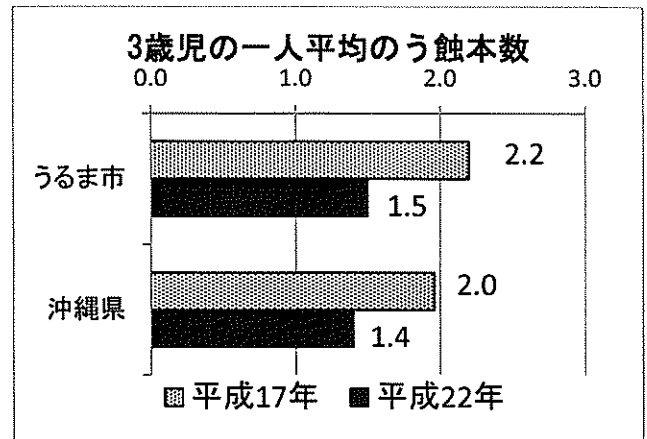
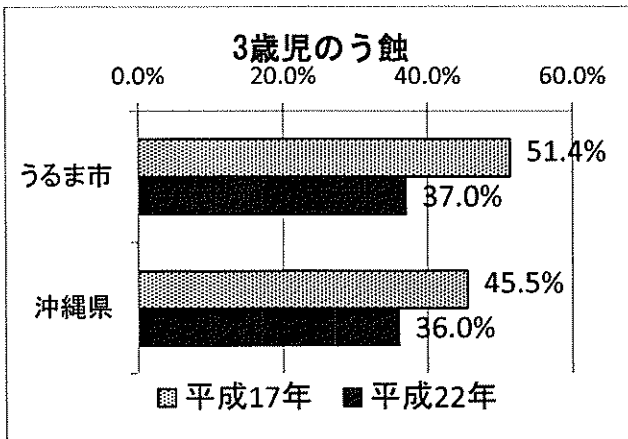
⑤肥満率(乳幼児健診報告書より)

3歳児健診の肥満率をみると、男児で3.3%、女児で4.5%と、幼児期から肥満の傾向がみられます。



⑥う蝕の状況

3歳児のう蝕率及び一人平均う蝕本数は改善がみられるものの県より若干高い状況です。



⑦乳幼児健康診査の所見

1歳半健診の医師の診察所見では、精神発達が14.4%で最も高く、3歳児健診では、日常生活習慣で12%となっています。

乳幼児健診有所見	精神・神経	皮膚	頭頸部	尿異常
うるま市	1.3%	7.4%	1.5%	0.9%
中部福祉保健所管内	0.7%	5.2%	0.7%	0.8%
沖縄県	0.9%	6.8%	0.6%	0.7%

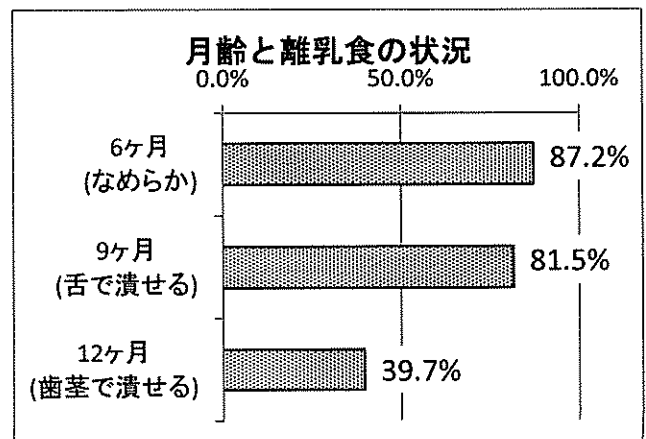
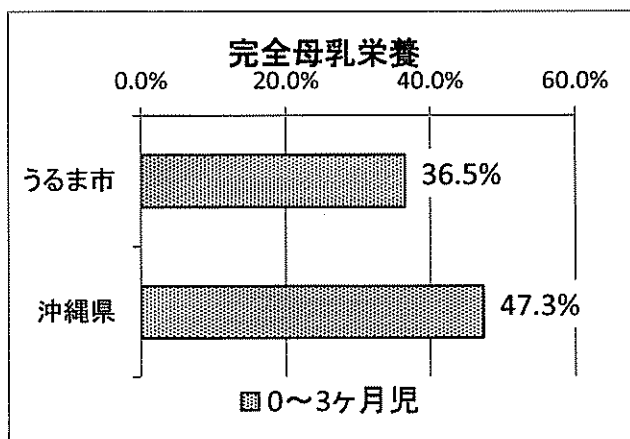
1歳半健診有所見	精神発達	皮膚	胸部
うるま市	14.4%	6.4%	5.4%
中部福祉保健所管内	8.0%	3.9%	2.5%
沖縄県	5.6%	4.1%	2.3%

3歳児健診有所見	精神発達	日常生活習慣	言語	尿異常
うるま市	2.8%	12.0%	6.3%	1.6%
中部福祉保健所管内	2.3%	3.1%	3.9%	1.5%
沖縄県	2.8%	1.6%	4.1%	2.1%

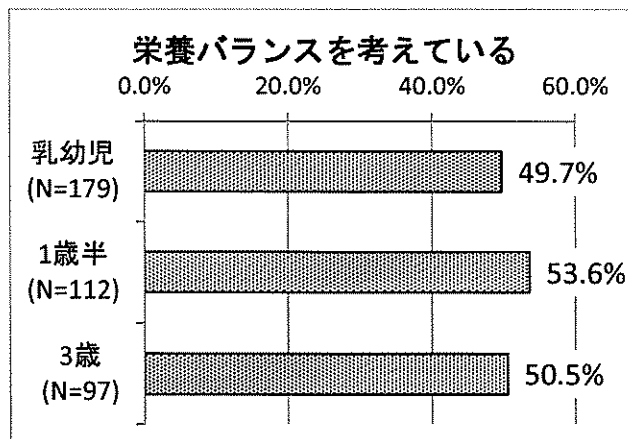
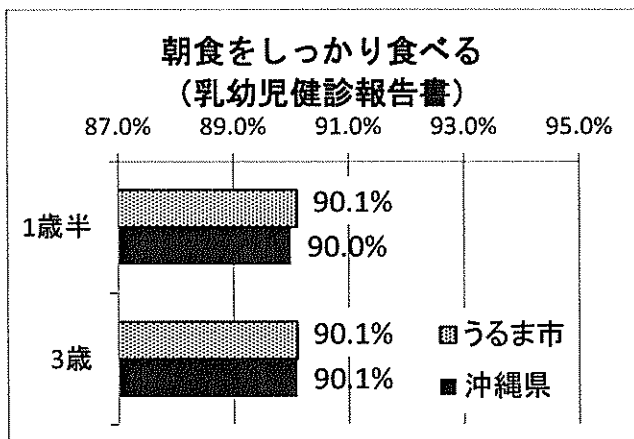
2) 生活習慣（本人・周りの人の取り組み）の状況

①栄養に関する状況（乳幼児健診報告書（H22）、アンケート調査結果より）

生後3か月児の完全母乳栄養率は36.5%と、県の47.3%に比べて低くなっています。12ヶ月時点で離乳食形態に移行できている割合が39.7%となっています。

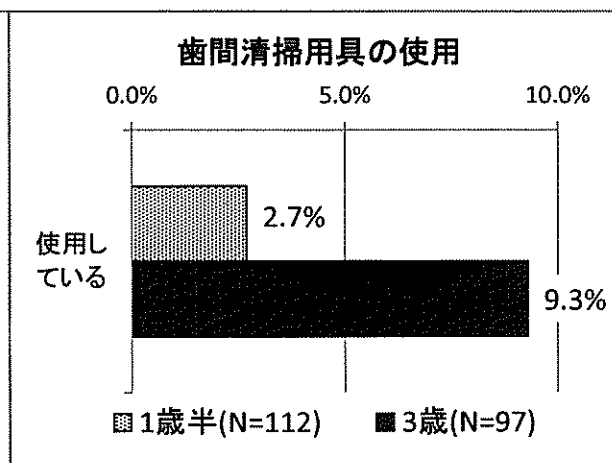
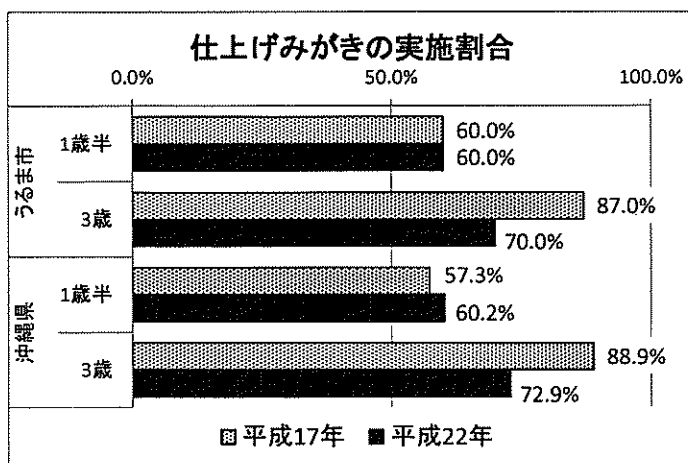


1歳半から3歳児では、朝食をしっかり食べる子どもの割合が90.1%となっています。栄養バランスを考えて食事を作る割合は、1歳半・3歳児ともに約5割となっています。

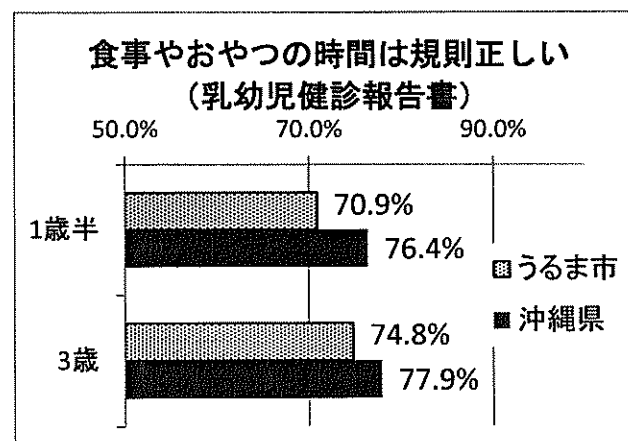
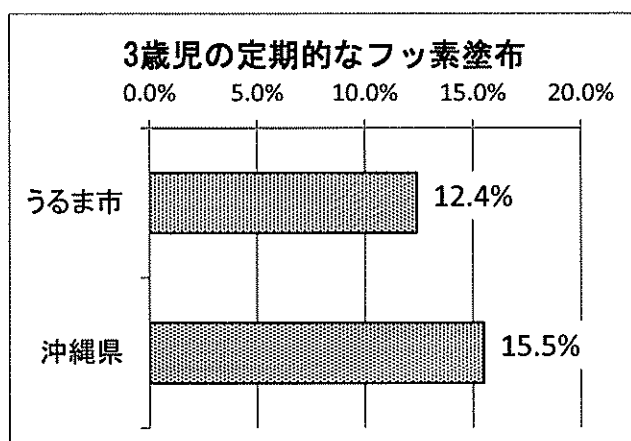


②歯に関する状況 (アンケート調査結果より)

仕上げみがきの実施率は、1歳半で60%、3歳児で70%となっています。平成22年度の3歳児の仕上げ磨き実施率は、平成17年度の87.0%より低くなっています。デンタルフロス等の歯間部清掃用具の使用は、3歳児でも9.3%と少ない状況です。

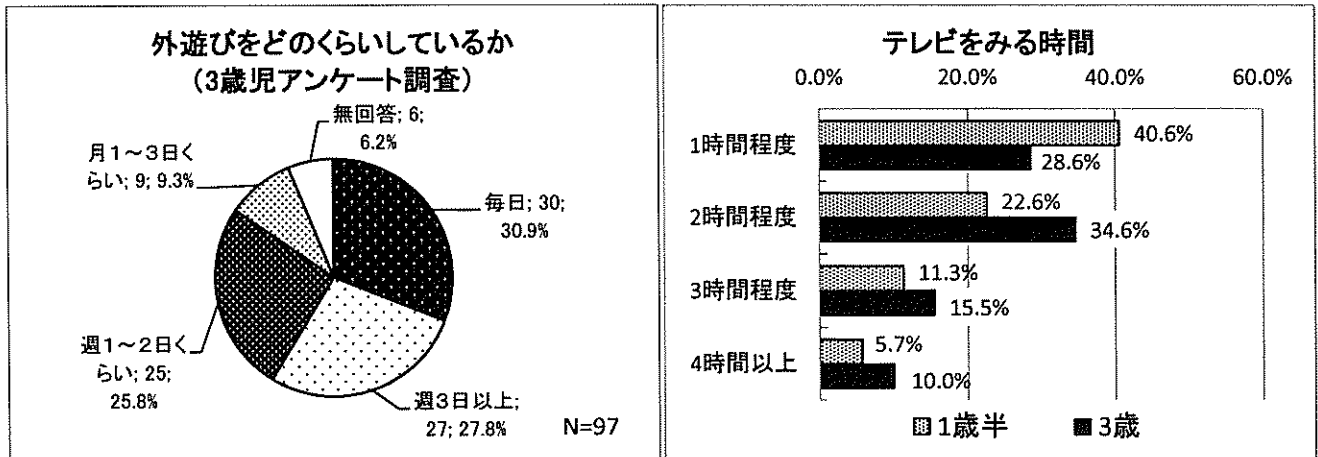


3歳児の定期的なフッ素塗布は、市が12.4%、県でも15.5%と低い状況です。食事やおやつの時間を規則正しく与えている割合は約7割で、県に比べ若干低い状況にあります。

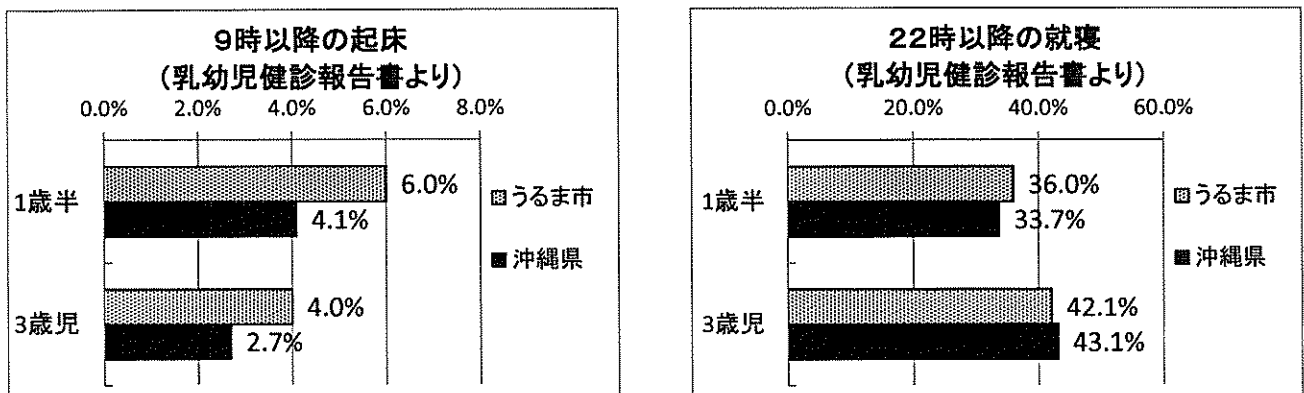


③運動（生活リズム）に関する状況（アンケート調査結果、乳幼児健診報告書より）

運動習慣をみた場合、3歳児において、外遊びの頻度が週3日未満と少ない児童が35.1%みられます。また、1日の過ごし方として、3歳児ではテレビを3時間以上視聴する児が約25%と多くみられます。

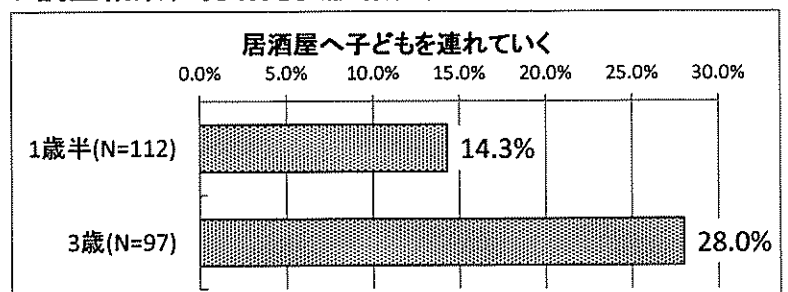


3歳児の起床・就寝時間をみると、9時以降の起床が1歳半・3歳児ともに県より多くみられます。また、22時以降の就寝は1歳半で36.0%、3歳児で42.1%となっています。



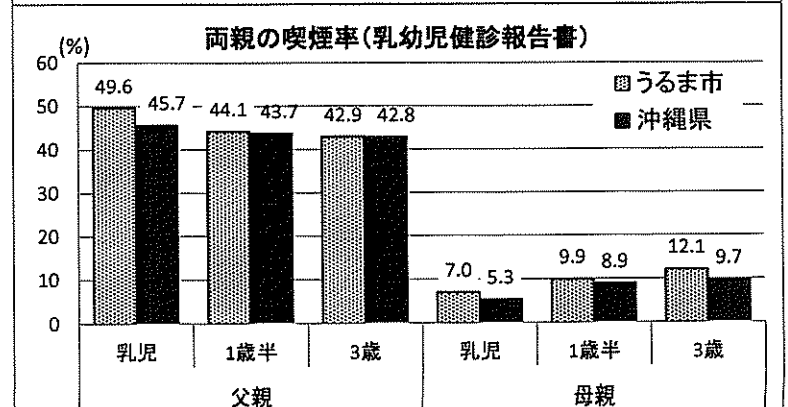
④酒・たばこに関する状況（アンケート調査結果、乳幼児健診報告書より）

子どもを酒の席に同席させている親が1歳半で14.3%、3歳児で28.0%みられます。

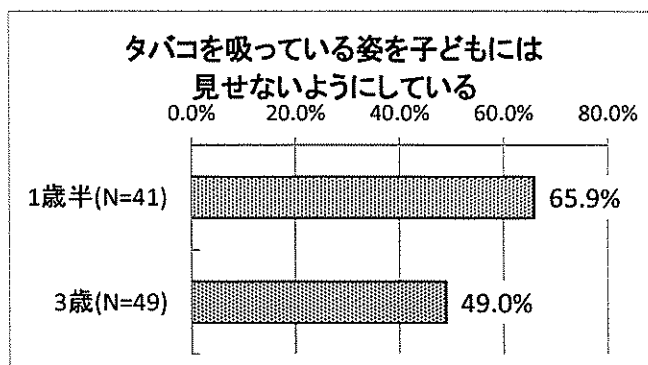


両親の喫煙状況について、喫煙習慣のある親が、どの年齢でも県より高い状況にあります。

母親の喫煙は乳児7.0%、1歳半で9.9%、3歳児で12.1%となり、子ども年齢が上がるとともに高くなっています。

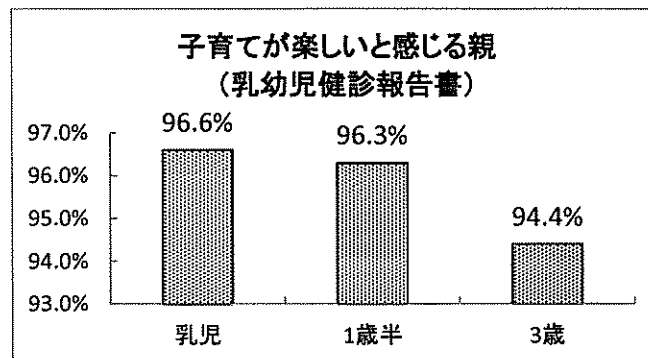


喫煙習慣のある親のうち、たばこを吸っている姿を、子どもに見せないようにしている親は、1歳半で65.9%、3歳児で49.0%となっています。

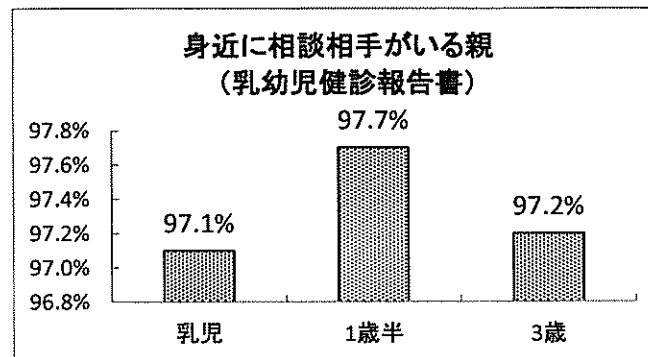


⑤ゆとりに関する状況（乳幼児健診報告書、アンケート調査結果より）

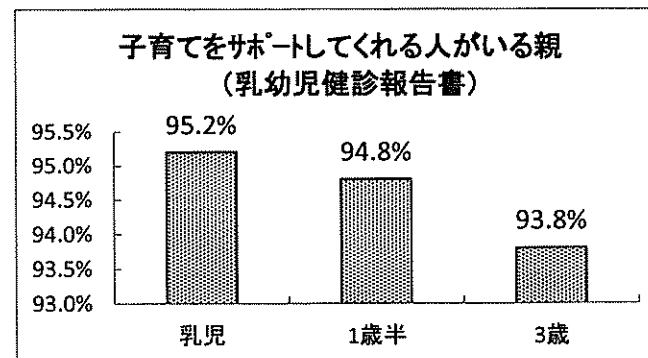
子育てが楽しいと感じている親の割合は、乳児で96.6%、1歳半で96.3%、3歳児で94.4%となっています。



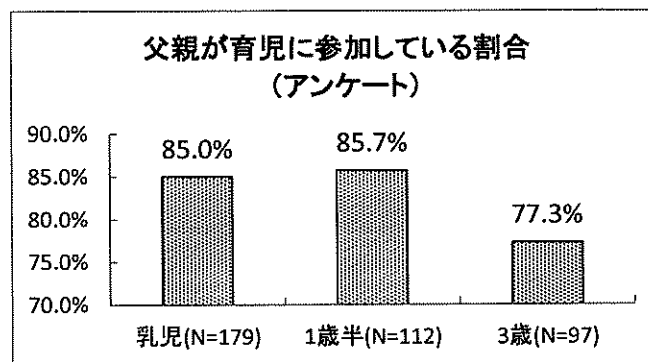
身近に相談相手がいる親の割合は、乳児で97.1%、1歳半で97.7%、3歳児で97.2%となっています。



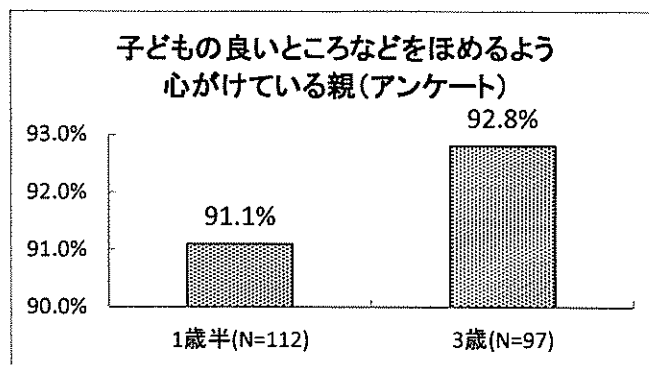
子育てをサポートしてくれる人がある親の割合は、乳児で95.2%、1歳半で94.8%、3歳児で93.8%となっています。



父親が育児に参加している（よく参加すると時々参加するの合計）割合は、乳児で85.0%、1歳半で85.7%、3歳児で77.3%となっています。

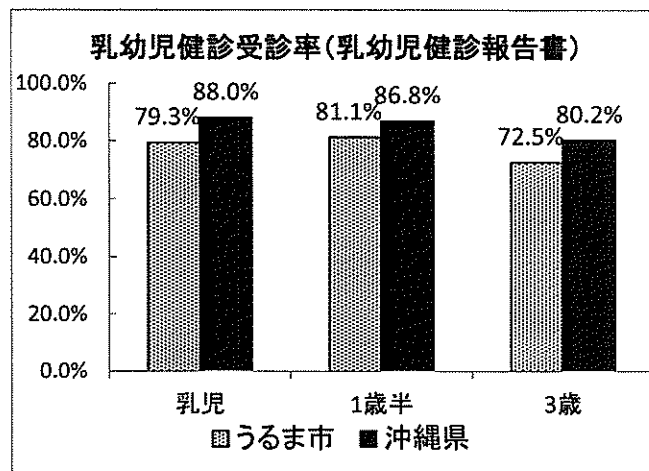


子どもの良いところ、頑張っているところを見つけ、ほめるよう心がけている親の割合は、1歳半で91.1%、3歳児で92.8%となっています。



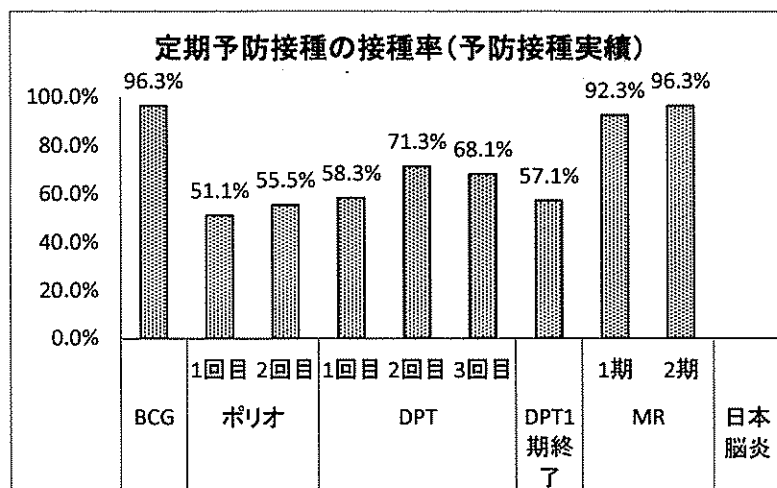
⑥健康管理に関する状況(人口動態統計、国保レセ、乳幼児健診報告書より)

乳幼児健診の受診率は、乳児健診で79.3%、1歳半健診で81.1%、3歳児健診で72.5%となっており、すべての健診で県平均を下回っています。



定期予防接種の接種率は、BCG・MRで9割を超えています。

ポリオでは、1回目・2回目ともに50%台、DPTでは接種回によってばらつきがあり、6割弱から7割の接種率となっています。



事故予防の取り組みの一つとして、チャイルドシートの使用率をみると、乳児で97.9%、1歳半で95.0%、3歳児で82.5%となっており、市・県とも子どもの年齢が高くなるほど、使用していない状況が高くなります。

